



Angel's stairs

天の階

Zhongli x Tartaglia

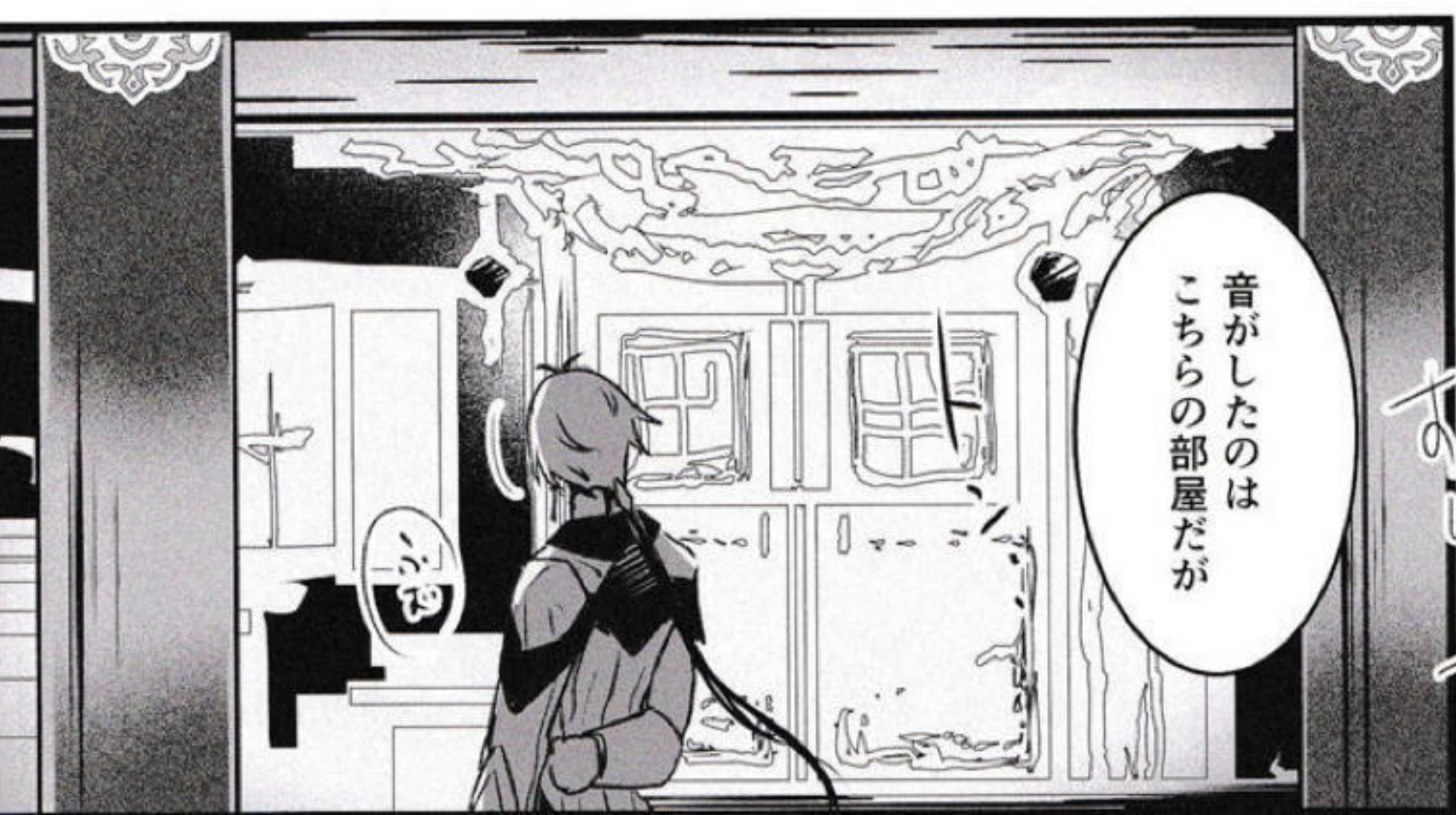
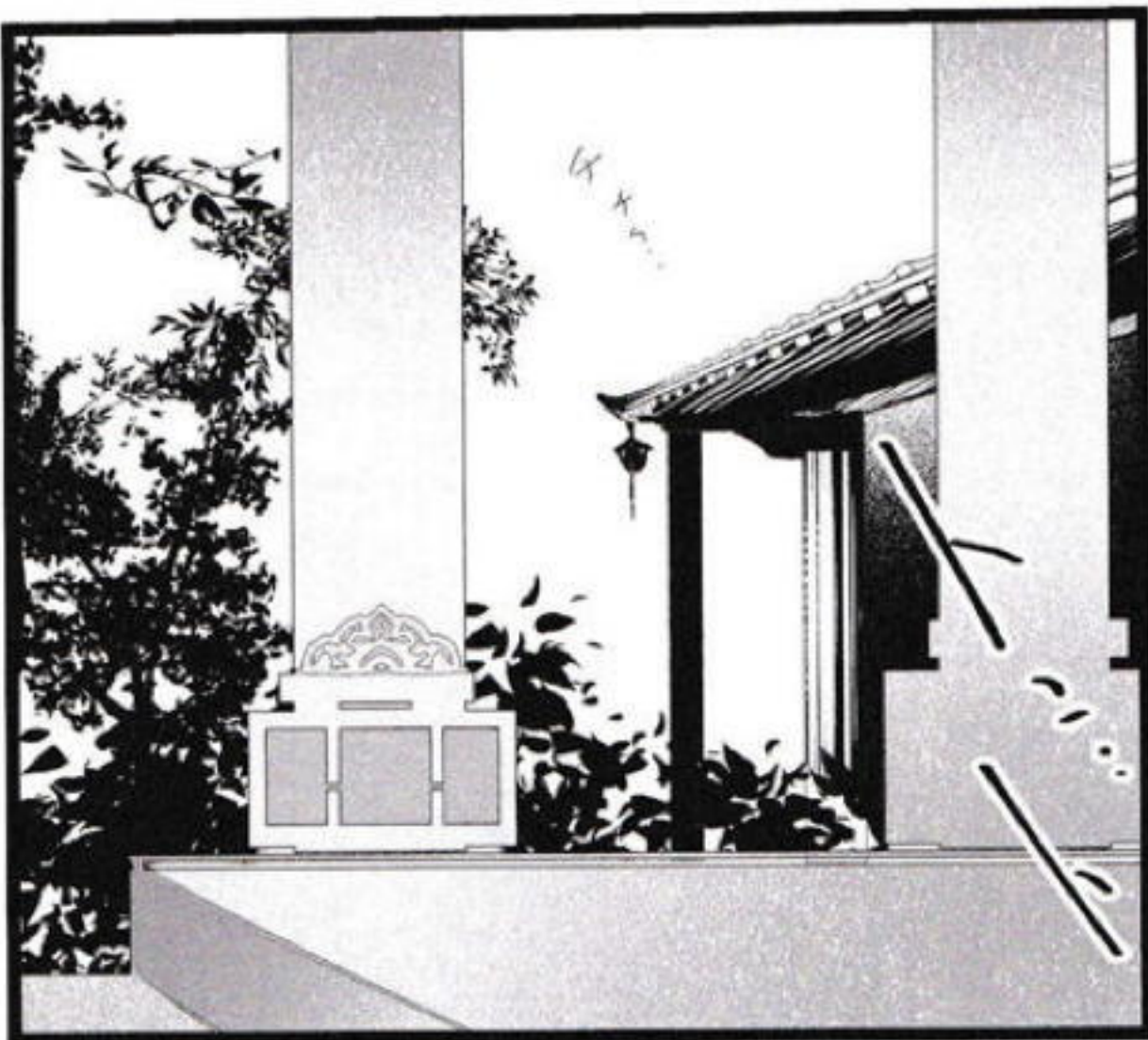
DOUJIN
Adult Only
R18



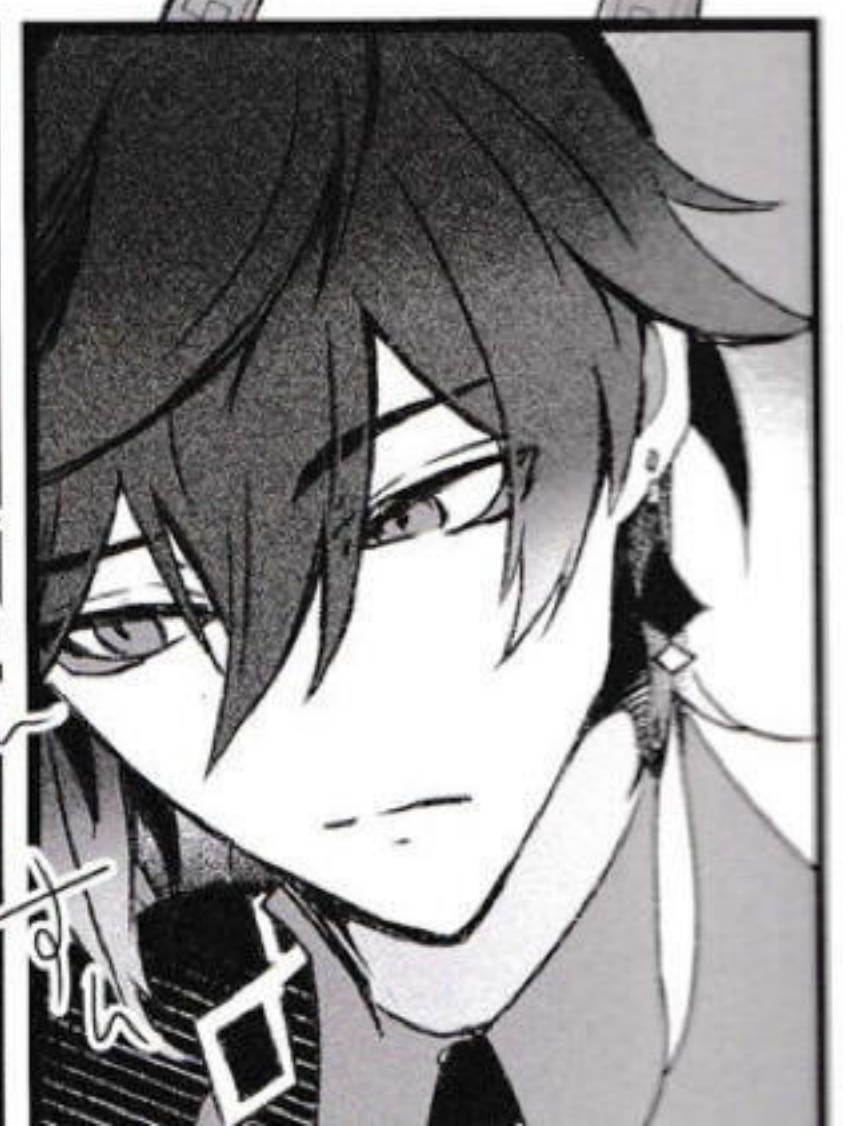
カタンッ



...ん



音がしたのは
こちらの部屋だが



すす





挨拶の仕方を
検討してほしい
ものだが

あはは



…全く



それで?

コシコシ



手負いの狐を拾ったら
どう世話をするんだ?

ははっ
先生も冗談
言うの?

ごめんねえ?



この有様なんだけど
銀行に帰るのも都合悪くてね

本は汚さないように
気を付けたけど



海灯祭の準備中に申し訳ないけど
お邪魔させてもらったよ



…床、
後で片づけるからさ

ふむ



それは当然だな

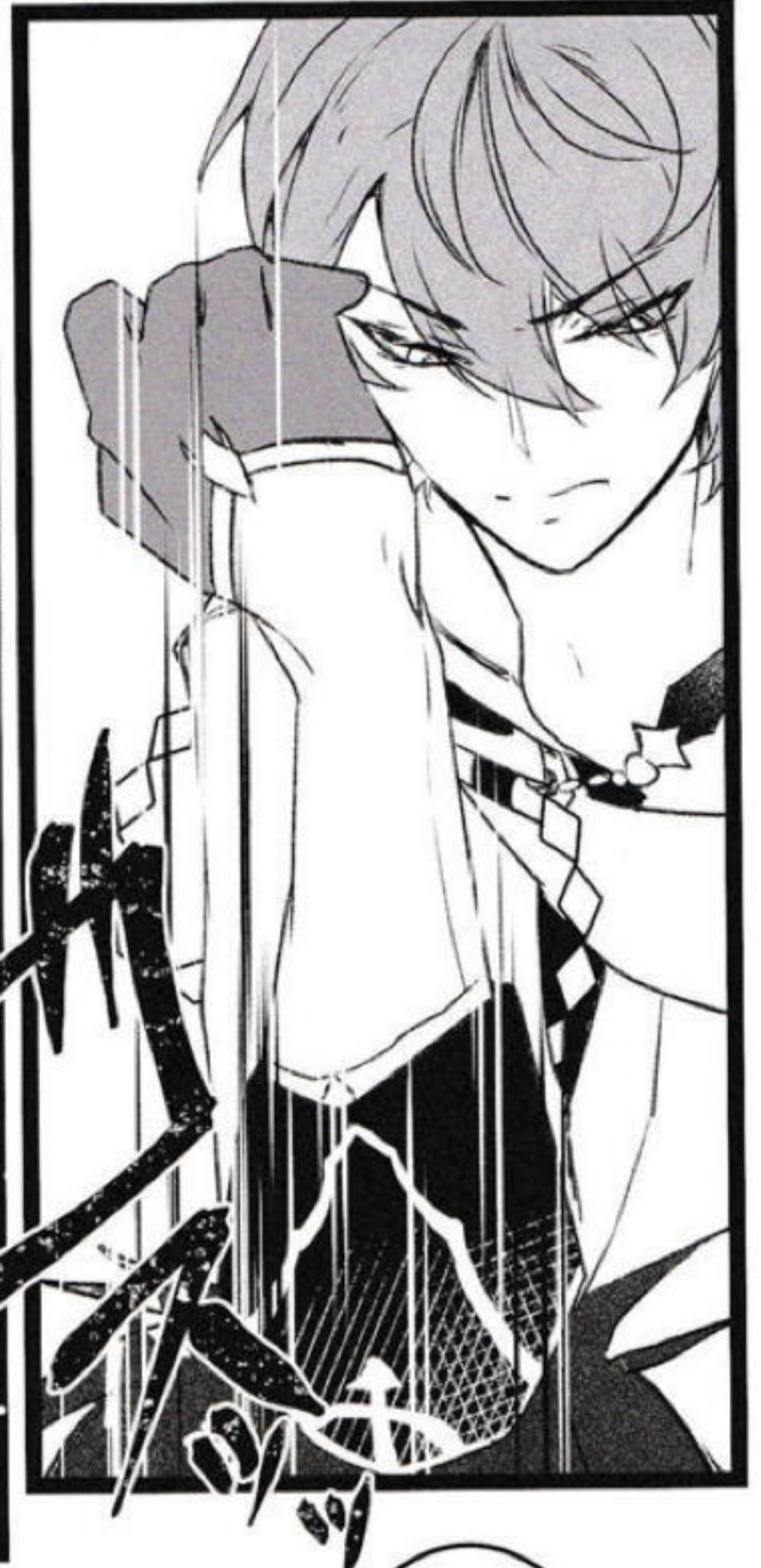


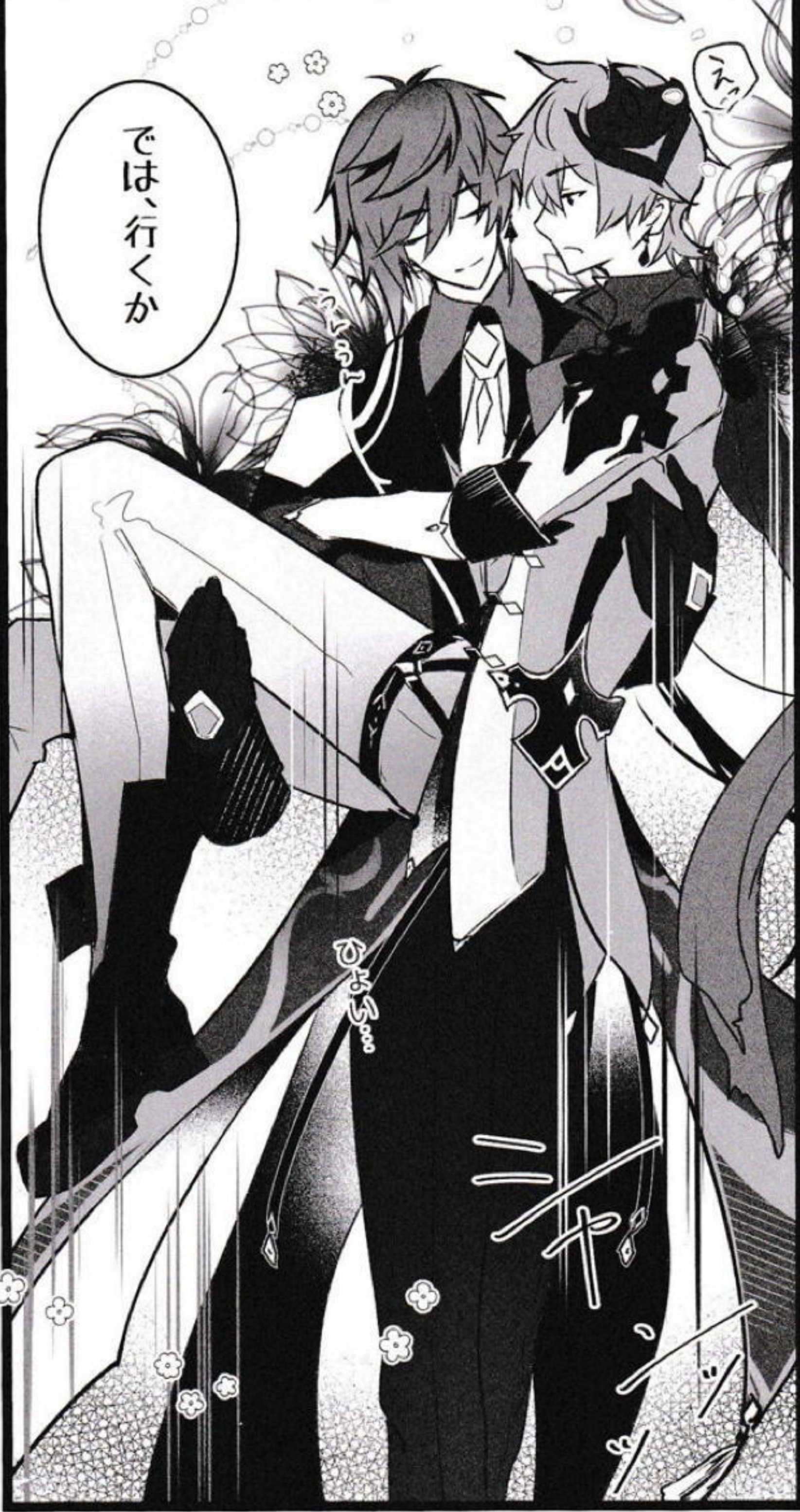
まあいいこれ以上は
向こうの部屋で—

いや…













…前にも
言ってたね

今更だけど



他の奴がつけた傷が
そんなに嫌かな？



当然だ

へえ

あの鍾離先生が
嫉妬するんだね



…公子殿

その脆い身体で無茶をして
よく飽きないものだ



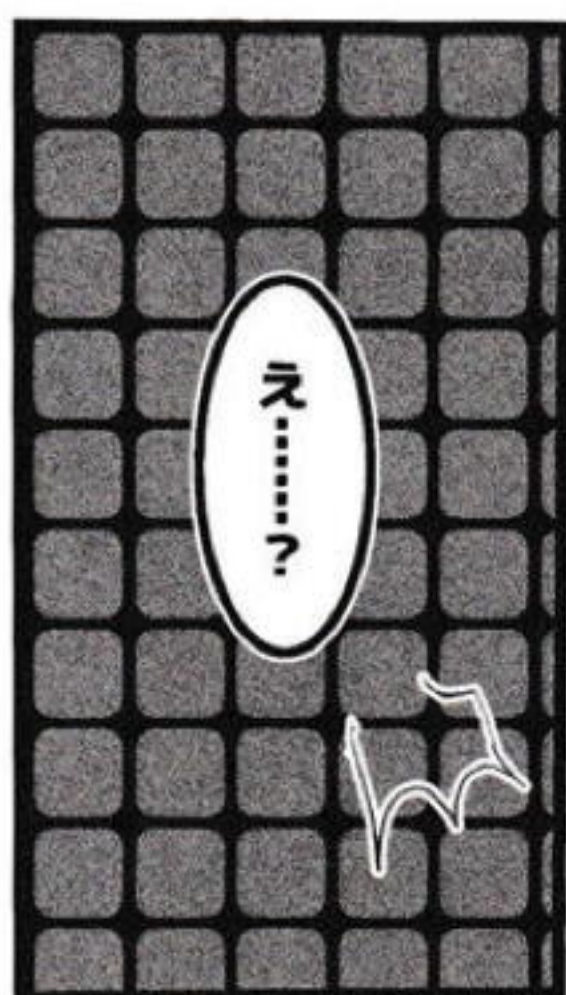
そりゃ先生みたいに
すぐ治るわけじゃない

そうだな

だけど戦いは俺にとって
生き甲斐なんだよ

ないんて







.....

「はあ、はあ」



ああいや……キスしてきたし
その気かと思ったんだけど？



公子殿、貴殿は
ひとまず休息が必要だ

うう

ええ???

本気で言ってる？
あの先生が？



ありえないー！

ー
サ
ッ

この状態でほっとくの
生殺しじゃない??

ふむ
自覚がないのかも
しれないが
公子殿

血の気が薄過ぎる
すぐに失神するだろう

大人しく寝るんだな

ぴり!

女神の尻尾……
いや元神か……

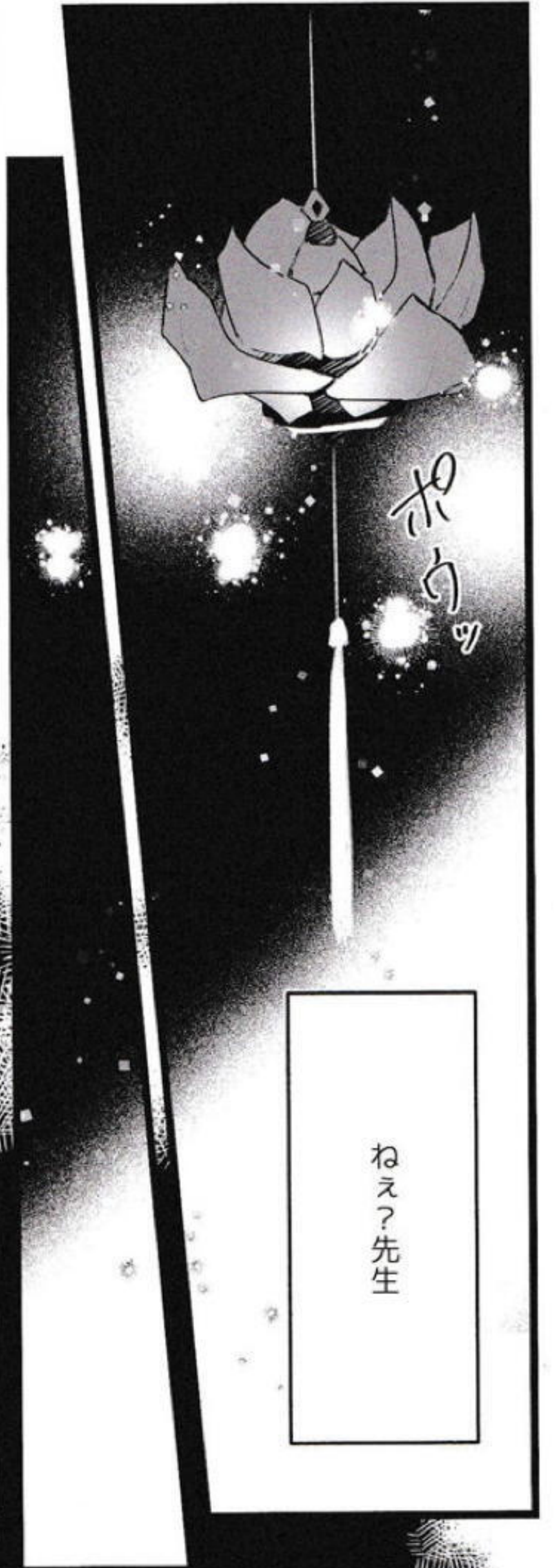
まさか放置されるとは
思わなかったが……



はー

ああもう……
上手くないかね

ほんと



ねえ？先生



——夜まで
寝てたか…



公子殿だ

スネージナヤの武人で
軍人…ああそれと



気付いてたんだね…全く
俺を何だと思ってるの？



俺が凡人と成り
初めて誼を結んだ
友人でもある…

至上の武を尊び
己の信念を貫いている

俺の恋人だな



さっきはつれなかった人に
何故か突然
惚気られたんだけど

海灯祭だからな

あー！

俺に分かるような説明を
お願いしていいかな？

はははっ
それもそうか

璃月の民はこの時期
皆祭りの準備で忙しい

方々で商いの手配や
灯の用意もある

それはそうだろうねえ

皆がどこかへ行き
行方も知れない、
自然な状況だろう？

だから

恋人達は海灯祭で
逢瀬を重ねている

ああ、習慣？
そういう季節行事
ってことか

公子殿は戦いに
執心していてあまり
興味がないかもしれないが

へえ

そうだな



なるほどね

はい

いい事を聞いたよ

先生の大好きな
璃月の伝統でしょ

はー

今日は面倒なこと
なくてよかったんだね

いつもしなぐで
いいんだが...

それは無理

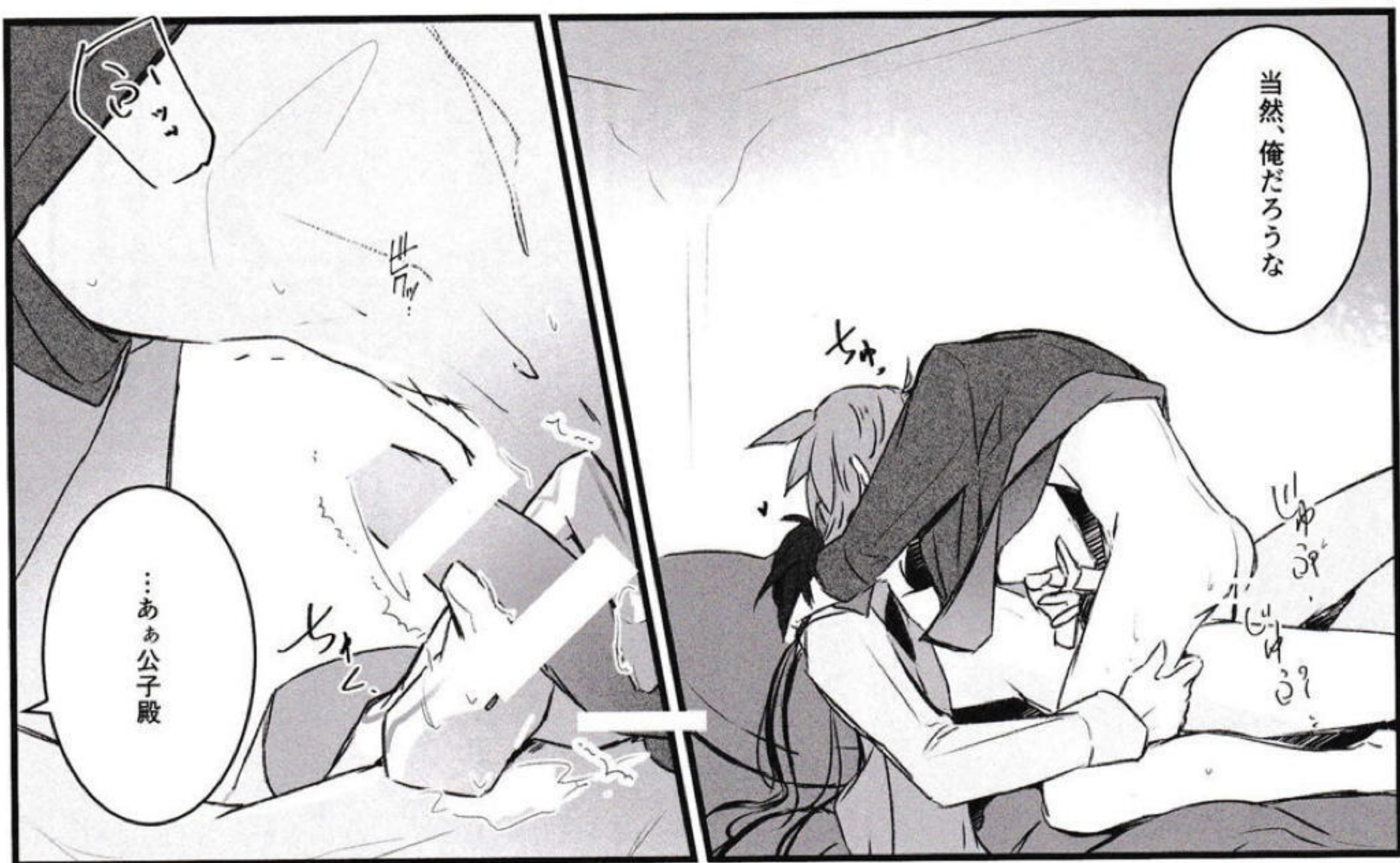
ならせつかくの
チャンスだ

お詫びだよ
お詫び♪

俺達だって
楽しもうよ









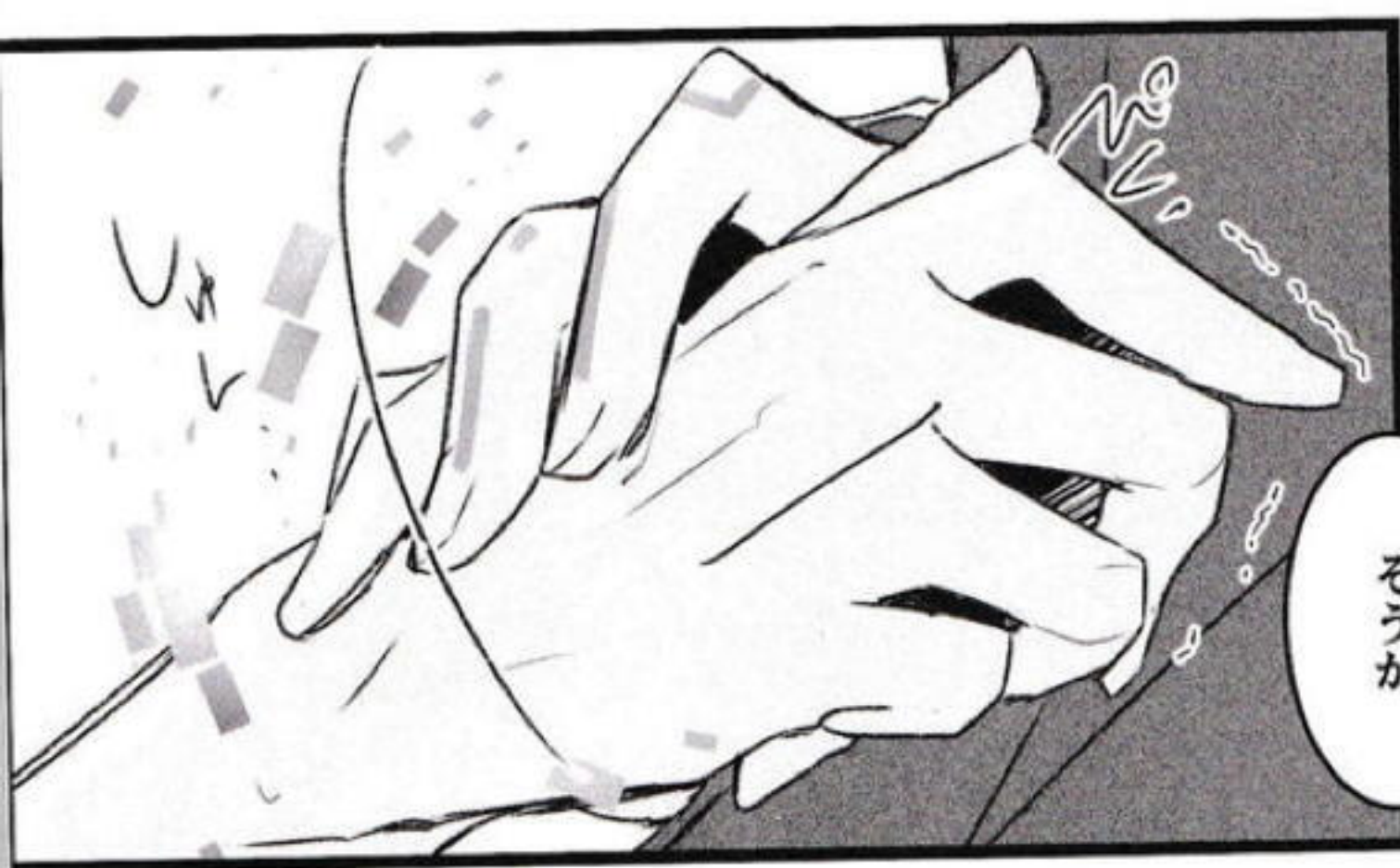
怪我の話だ

怪我ならば幾らでも
治癒してやれる、だが…

人間はすぐ死ぬなんて
言ったの先生だよ？

俺はそうならないよう
自分を鍛えているんだよ











先生が
しつこ過ぎるんだよっ

ふむ…

では公子殿は大人しく
傍にいてもらうのに

どんな契約を
結べばいい？



サレレ

子を成す器官でも
ここへ形成し—

そうか…

残念そうに
言うなっ

離れろっ



絶対駄目ッ
凡人はそんなこと
出来ないのっ!!

何するか本っ当に
分かんないなあんだ

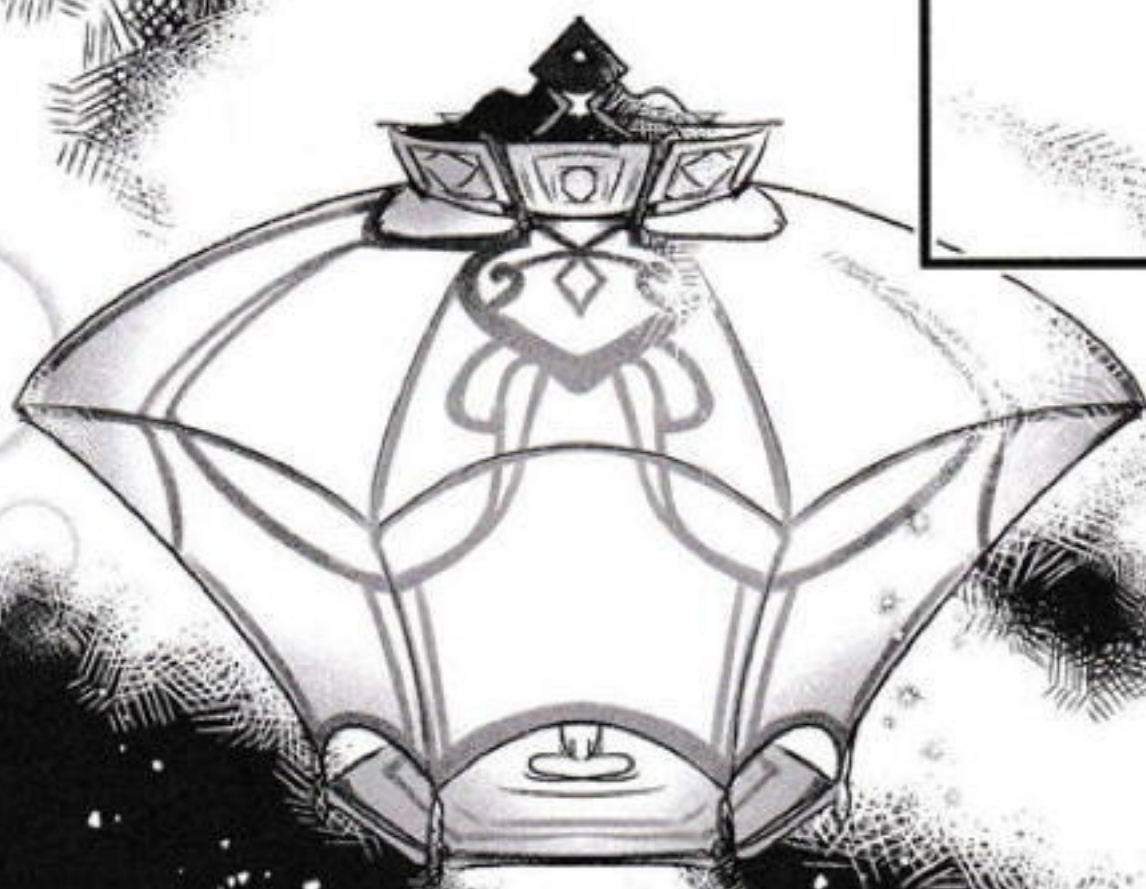
いっ



公子殿
ではやはり

もう少し自分の身を
大事にして貰いたい

先生はもっと
人間らしい事覚えて！







布だけでは
窓から見えない

湯上りサービス
だと思ってよ

公子殿…

全く先生は
璃月大好きだね

旅人は稲妻の国に
行っちゃたよ？

稲妻か

あの国も美しい風景で有名だ
旅人たちも楽しんで来るといい

さっきまで散々
好き勝手してた人が
気にする事なの？



鎖国の国の
美しい風景、ね

先生は雷神とも
知り合いなの？

公子殿

やだなあ
怖い顔しないでよ

…それはファデュイ
としての質問か？

強いやつかどうか
ただの興味だよ

…

雷神

彼女は
永遠を求めているという

永遠？



ああ

今の俺にも
分かる気がする

…はあ

なるほど。
分かってほしくは
ないけどね

そういえば、

祖妻にもこの海灯祭と
類似した祭りがあるらしい

毎年夏に返ってきた先祖の魂を
迎え、そうして極楽へと送る

精霊流しと称する文化で
夜に提灯で装飾した船を
海に浮かべ沖へと流

提灯と共に花火を打ち上げて
海を渡るさまはとても美しい
評判であるという

アーハイ
わかったわかった

これは璃月の祭
爆竹を鳴らすの

先生それさあ、
見たことある？

無いな
俺はこの璃月を守るべく
離れる機会があまりない

うん！じゃ次のソレは
俺と見に行こうよ

岩神じゃない先生は
自由に旅して構わないよね？

新しい契約か

いや
契約じゃなくて

デートの約束って
知ってる？

俺の時間を先生と一緒に
人間らしく！使いたい

「約束」を
して欲しいんだ
「凡人」みたいにね

埋め合わせには
足りないかな？

共にいるだけで
充分だ…今は

永遠とかは
無理だけどさ

…いや、

謹んで
約束しよう

ははっー！

気が抜けないなあ

GENSHIN IMPACT FANBOOK#2

「天の階」

鍾離 × タルタリヤ
2021/08/31 発行

【紅茶兎】 Limeee
blackteayc@gmail.com
Twitter @xlimeee
pixiv 66041347

印刷会社  **SUN GROUP**
http://www.sungroup.co.jp/

マシュマロです
感想などよろしければこちらに
下さると幸いです



◇お手に取っていただきありがとうございます。
2冊目の鍾タル本です。
前回からタルは未だに素直じゃなくて悪態つくし
先生は何かするにも若干説明不足なんですよ…
寿命が違えば考え方も違う…
両思いなんですけどね。
この二人の距離が同じ時間を過ごす内
徐々に近くなってほしいものです。

■厳禁

無断転載及びインターネットへのアップロード、
オークション出品等 一般の目に触れる行為を禁じます。

△Don't repost my artworks.
Unauthorized reproduction, uploading to the Internet,
auction listing, and acts seen by the public are prohibited.

